



# Asian LE MANS<sup>®</sup> series™

《アジアnlマンシリーズ》紹介  
2009年10月31日、11月1日 岡山

ダニエル ポワスノ氏インタビュー  
ACO 会長コンサルタント、競技長

《我々は日本の自動車メーカーがこのレースに関心を示していただいたことをとても光榮に思います》

ダニエル ポワスノはアジアnlマンシリーズの誕生とその賭けについて語る。また複雑なオーガナイズと WTCC との緊密な協力の秘密を見せてくれる。特に、ACO として、岡山に10月31日に集まる日本の自動車メーカーが、示してくれた関心に満足している。

問い：アジアnlマンシリーズのアイデアはどのようにして生まれたのですか。

アジアでルマンタイプのレースが必要だと前から感じていました。チーム、耐久レースやLMP プロトタイプの好きなドライバーがかなり潜在的にいと、岡山でのレースを発表してわかりました。影山氏や土屋氏のような有名なドライバーも発表会に来てくれました。もちろん我々の友人で、ACO の理事そして大使の、「Mr. ルマン」こと寺田陽次郎も出席してくれました。

問い：日本のチームがそこでヨーロッパやアメリカのチームと競う訳ですね。

アジアのチームが8チーム参戦します。日本チームが7チームと中国が1チーム、全部で9台が参戦します。現地のチームをベースにして、そこにALMS や、ルマンシリーズ、ルマン24時間レースに普段参戦しているチームが加わるというのが我々の考えでした。今回の記者発表に東海大学チームのクラージュ オレカ YGK を展示したかったのですが、ちょうどその日が車のテストということでした。岡山には、ラーハル レターマン レーシング チームのオフィシャル BMW とロバートソンレーシングのフォード GT MK7 がアメリカの外での初のレースとなります。

問い：質の高い参戦ですね。チームの数に満足していますか。

20台参戦すれば満足できると思っていました。そこへ23台の参加があります。プロトタイプが9台で、14のメーカー、6カ国が参戦します。大変にうれしく思っています。

問い：技術的、経済的な問題から上海が中止となりました。これは延期ということですか。

このようなオーガニゼーションは早すぎたのかもしれませんが、ACO は中国で最低1レースを2010年か2011年にやりたいと思っています。今年我々は中国に、法に則って、レースをオーガナイズできる法的組織を作りました。日本には2008年からACO Japanがあります。

問い：インターコンチネンタルトロフィーを狙いとしてですか。

これはLM P1が対象となりますが、世界のメーカーが何度も、こういったタイプのチャレンジへの興味を我々に示したのです。ALMS やLMS やアジアnlマンシリーズのようなルマンのシリーズから5、7戦の選択で構成されます。FIA のカレンダーが決定次第、スポーツオーソリティーに明確な形で提案しようと思っています。2011年をスタートにするつもりです。スポーツ面だけではなく、マーケティング、コミュニケーションや放映権の面でも、良い条件での準備には時間が必要ですから。

DÉPARTEMENT COMMUNICATION

Email : [presse@lemans.org](mailto:presse@lemans.org)

Circuit des "24 Heures"  
72019 Le Mans Cedex 2  
Tél : 02 43 40 24 02  
Fax : 02 43 40 24 88  
Internet : [www.lemans.org](http://www.lemans.org)

Siret : 775 652 316 00016 - Association sans but lucratif régie par la loi de 1901



《JAF が ACO にたいし、岡山での第一レースの前にルマン 24 時間レースとルマンシリーズに規約の説明をするよう依頼がありました。日本のメーカーすべてが参加します。ACO に取っては非常に名誉なことです。》

**問い：日本のメーカーはとくに岡山に興味を示していますか。**

そうです。日本自動車連盟(JAF)が ACO に対し、ルマン 24 時間レースとルマンシリーズの規約とその変化について説明をするように求めてきました。すべての日本の自動車メーカーの人間が集まります。土曜日の朝、第一レースの前に、岡山まで 19 人にお越しいただきます。いままではこの種の会合は必ず東京で行われました。とても名誉なことと思います。

**問い：2つの大レースを同じ週末におこなうのは大変なことですね。**

WTCC+アジアトルマンシリーズ=集客の確保 ということができます。このすばらしい週末に 3 万人の観客を予想しています。最初からアジアトルマンシリーズを、世界的なイベントとして、利点のあるサーキットでスタートするのに、WTCC と組もうと思っていました。

**問い：どうして 1000 キロではなく、500 キロのレースを 2 回なのですか。**

時間の問題です。17 時には暗くなりますから。またほかの利点もあります。予選 1 回で、もし何かあった場合でも、遠くからくるチームがおおいなかで、2 度のチャンスがあることになります。

**問い：こういうオーガニゼーションの、輸送は大変だったと思いますが。**

準備が複雑でした。ACO が車両と機材の運搬費用を負担しましたが、作業には、我々のパートナーである、世界的な輸送会社、F1 もやっている、DHL のお世話になりました。DHL はヨーロッパから大阪まで(注 1)の海上輸送と、アメリカのチームは日にちの問題があるので、航空輸送を行います。

**問い：アジアトルマンシリーズに、ACO は多くのパートナーを集めましたか。**

ルマン 24 時間レースとルマンシリーズをずっとやっていただいている、我々の時計のパートナー、ロレックスがアジアにも来てくれました。我々のメインパートナーは、独立のエンジニア会社で、オレカチームとシルバーストーンで優勝した AIM です。ミシュランはグリーン X チャレンジをアジアまで拡張してくれましたし、マツダはセーフティーカーを出してくれます。これにボッシュ、DHL、シェルが加わり、JTB は日本でのレースのオフィシャル旅行代理店となっています。

**問い：アジアトルマンシリーズの 4 つのカテゴリーのそれぞれの優勝者は、2010 年のルマン 24 時間レースの招待チームとなるわけですね。**

2 つのレースの総合で、LM P1、LM P2、LM GT1、LM GT2 のそれぞれの勝利者が、2010 年 6 月 12、13 日のルマン 24 時間レースに招待されます。ALMS のラグナ セカでの最終戦と岡山の後に、招待チームのリストを発表します。

(注 1)天候により 3 週間の行程。大阪より各チームのコンテナは陸路サーキットへ向かう。

**DÉPARTEMENT COMMUNICATION**

Email : [presse@lemans.org](mailto:presse@lemans.org)

Circuit des "24 Heures"  
72019 Le Mans Cedex 2  
Tél : 02 43 40 24 02  
Fax : 02 43 40 24 88  
Internet : [www.lemans.org](http://www.lemans.org)

Siret : 775 652 316 00016 - Association sans but lucratif régie par la loi de 1901